

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	総合国語Ⅰ A	
科目基礎情報							
科目番号		0023		科目区分		一般 / 必修	
授業形態		授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		一般科目		対象学年		2	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		『高等学校改訂版現代文B』（第一学習社），『新訂七訂 総合国語便覧』（第一学習社），『新しい常用漢字』（数研出版），『読解 評論文キーワード 改訂版』（筑摩書房）					
担当教員		大西 洋平					
到達目標							
1 文学作品に親しみ、鑑賞することができる。 2 論理的な文章を読み解くことができる。 3 実用的な文章（手紙・メール）を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。 4 報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットなどから適切な情報を収集できる。 5 収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。 6 報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	文学作品に親しみ、鑑賞することができる。 が顕著にできる。		文学作品に親しみ、鑑賞することができる。		文学作品に親し、鑑賞することができない。		
評価項目2	論理的な文章を読み解くことが顕著にできる。		論理的な文章を読み解くことができる。		論理的な文章を読み解くことができない。		
評価項目3	実用的な文章（手紙・メール）を、相手に応じた体裁や語句を用いて作成することが顕著にできる。		実用的な文章（手紙・メール）を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。		実用的な文章（手紙・メール）を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できない。		
評価項目4	報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットなどから適切な情報を顕著に収集できる。		報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットなどから適切な情報を収集できる。		報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットなどから適切な情報を収集できない。		
評価項目5	収集した情報を分析し、目的に応じて整理することが顕著にできる。		収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。		収集した情報を分析し、目的に応じて整理できない。		
評価項目6	報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することが顕著にできる。		報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。		報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (iv)							
教育方法等							
概要		評論，文学作品を精読する。また，実用的な文章の書き方，情報収集・論文の書き方のトレーニングを行う。					
授業の進め方・方法		【授業方法】 ・講義形式・グループ学習を必要に応じて用いる。 ・必要に応じて，教科書未掲載の文章（授業にて配布）を取り扱うこともある。 【学習方法】 ・復習は必ず行うこと。 ・情報収集・文章作成については主体的な学習が求められる。					
注意点		【成績の評価方法・評価基準】 上述の到達目標を基準とする定期試験（70％），課題レポートなどの提出物・小テスト（15％），口頭発表・質疑応答・音読（15％）を加えた総合評価とする。試験時間は50分とする。 ★授業には積極的な参加が求められる。授業態度が悪いと判断した場合は成績点から減点することもある。 【教員の連絡先】 研 究 室 非常勤講師控室 内線電話 － e-mail: y.onishi アットマーク maizuru.kosen-ac.jp（アットマークは@に変えること。）					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	シラバス内容の説明，実用的な文章（手紙・メール）の作成		3		
		2週	評論 池内了「思考バイアス」		2		
		3週	評論 池内了「思考バイアス」		2		
		4週	評論 高階秀爾「実体の美と状況の美」		2		
		5週	評論 高階秀爾「実体の美と状況の美」		2		
		6週	評論 立川健二「記号論と生のリアリティ」		2		
		7週	評論 立川健二「記号論と生のリアリティ」		2		
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	試験返却，到達度確認，小説 中島敦「山月記」		1， 4， 5， 6		
		10週	小説 中島敦「山月記」		1， 4， 5， 6		
		11週	小説 中島敦「山月記」		1， 4， 5， 6		

		12週	小説 中島敦「山月記」	1, 4, 5, 6
		13週	小説 中島敦「山月記」	1, 4, 5, 6
		14週	評論 ドミニク・チェン「未来をつくる言葉」	2
		15週	評論 ドミニク・チェン「未来をつくる言葉」	2
		16週	(15週目の後に期末試験を実施) 期末試験返却・達成度確認	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	前1
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	前9,前10,前11,前12,前13
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	前9,前10,前11,前12,前13
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	前9,前10,前11,前12,前13

評価割合

	試験	発表	相互評価	実技等	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	15	0	0	15	0	100
基礎的能力	70	15	0	0	15	0	100